

シンポジウム1 企画概要

「子どもとのコミュニケーションと感情育成—感情研究のさらなる応用に向けて—」

- 話題提供者： 大河原美以（東京学芸大学）
渡辺弥生（法政大学）
山本晃（筑波大学附属聴覚特別支援学校）
- 指定討論者： 中村真（宇都宮大学）
- 企画者・司会： 遠藤寛子（立正大学）

企画趣旨

近年、教育現場から「指導に腹を立て、教師を何度も殴った」「“うるさい”と苛立ち、相手を引きずり倒した」など、コミュニケーション場面における不快感情の制御・表出が困難な子どもの姿を示す報告が多々寄せられている。これを見据え本企画では、臨床・教育現場に携わってきた心理学者と現職教員を迎え、子どもの健やかな感情制御・表出を育んでいくための研究・実践を紹介する。

大河原美以先生より「親子の関係性と子どもの感情制御の発達」について愛着関係の観点からご説明頂く。子どもが親の都合に合わせて感情を過剰に制御し、承認や安心が得られない環境で育つことが、感情制御に関わる脳機能の発達を阻害するメカニズムをご解説頂く。渡辺弥生先生からは「感情リテラシーの発達をベースにした感情教育の具体的な実践」として、子どもの発達段階に沿った感情の理解や表出の仕方を踏まえた上で、現在どのようなことを目標に具体的な実践方法が用いられているのかご紹介頂く。また山本晃先生より「感情の気づきを促す教育実践」として、感情心理学の実証的知見を国語教育に組み込み、感情への気づきを促すプログラムを開発した、企画者（遠藤）との共同研究をご発表頂く。

指定討論者の中村真先生より「感情のコミュニケーション」という観点から、感情に関わる基礎～応用的研究における今後の課題を議論頂き、「子どもの感情育成に向け、今、何が必要か」について考察を深めたい。